

総括シート

組織名	観光文化交流局	組織長職氏名	観光文化交流局長 佐治 独歩
-----	---------	--------	----------------

◆施策にかかる経費等執行状況一覧

施策	令和4年度 事業数	平成30年度 決算額(千円)	令和4年度 支出済額(千円)	増減(千円、%)	
16 災害に強い都市基盤の整備を進めます	1	190,222	100,006	△ 90,216	△ 47.4%
17 防災・減災対策を進めるとともに、地域防災力の向上を支援します	0	—	0	—	—
34 国際的に開かれたまちづくりを進めます	8	458,717	508,256	49,539	10.8%
36 魅力的な都市景観の形成を進めます	1	0	5,000	5,000	—
37 歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します	27	8,241,973	4,982,992	△ 3,258,981	△ 39.5%
38 観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します	18	2,042,916	10,266,392	8,223,476	402.5%
39 スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます	0	15,876	0	△ 15,876	△ 100.0%
45 公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用を進めます	1	504,889	146,491	△ 358,398	△ 71.0%
計	56	11,454,593	16,009,137	4,554,544	39.8%

◆組織を取り巻く状況と今後の予測

新型コロナウイルスの感染拡大により、外出抑制や国際的往来制限、「新しい生活様式」への転換がもたらされ、それによる交流人口の減少、インバウンドの消失など、環境の激変とともに本市の観光、文化、MICE施策は非常に大きな影響を受けた。令和4年度においては、疲弊した業界を支援する目的として旅行商品造成支援やイベントの感染症対策支援などのコロナ対策事業を実施する一方で、アーツカウンシル事業の立ち上げや大河ドラマを活用した観光の推進、国際展示場第1展示館のリニューアルオープンなどコロナ禍でも観光文化交流局としての役割を果たすため、着実に事業を進めてきた。今後はコロナからの反転攻勢のみならず、更なる発展が求められる中、関係各所との連携をより強化しながら、局が培った知見やノウハウを最大限活用し、観光交流と文化歴史まちづくりの相乗効果による新たな交流需要を創出していくほか、時代の潮流を的確に捉えた施策の展開を図っていく。

◆総括

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、計画していた事業の中止や変更が生じる中で、関係部署が効率的・効果的な事業執行に努め、コロナ禍ではあるものの、最大限の成果を出すことができた。今後も個々の事業のあり方について必要な検討を実施しつつ、名古屋ならではの個性と魅力の磨き上げや新たな価値を創造するほか、事業実施にあたっては、引き続き、国庫補助や官民連携手法の活用等により本市の財源負担の軽減を図るとともに、有限である行政資源の投入について、投資効果を見極めつつ事業の効率化や見直しといった視点を持ちながら施策の展開を図っていく。

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策16）

個別事業の実施状況		
施策	16	災害に強い都市基盤の整備を進めます

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちよく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公 的 関 与
市有建築物の 天井等落下防 止対策 (文化芸術推進 課)	地震発生時に施設利用者の 安全を確保するため、名古 屋市建築物耐震改修促進計 画に基づき、対策が必要な 市有建築物の天井等落下防 止対策を実施	実施	実施 ▶設計 3施設 ▶工事 7施設	☆☆☆☆	190,222 (0)	100,006 (1,992)	8
(関連成果指標)―	備考	他局との共管事業			基準年度	30	

施策シート

施策 34 国際的に開かれたまちづくりを進めます



組織目標 姉妹友好都市や各分野において提携する都市等をはじめ、諸外国との交流を推進するとともに、日本人市民と外国人市民の交流と相互理解を促進し、すべての市民が安心・安全に暮らすことのできる多文化共生のまちづくりを推進することなどを通じて、国際的に開かれたまちづくりを進める。

個別事業	総合計画 掲載事業 進ちよく	その他の事業		成果指標	目標値		実績値	
		実績	決算額		年度	値	平成30年度	令和4年度
外国諸都市との交流推進	☆☆☆☆	—		① 地域で国籍の異なる人と交流がある市民の割合	5	40%	33.7%	29.2%
地域における情報の多言語化	☆☆☆☆	—						
地域社会に対する多文化共生の意識啓発	☆☆☆☆	—						
外国人向け防災事業	☆☆☆☆	—						
日本語学習の支援	☆☆	—						
自治体国際化協会負担金	—	↓	↓					
名古屋市公館の運営・整備	—	↓	↑	備考				
留学生の支援	☆☆☆	—		② 外国人留学生数	5	9,700人	7,701人	6,623人
				備考				

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)		増減額(千円)		増減割合
	458,717	(393,106)	508,256	(398,754)	49,539	(5,648)	10.8%

今後の方向性

姉妹都市提携とは、市民の機運の盛り上がりによって結ばれた二つの都市の市民が、積極的に文化や経済の交流をはかりながら、人種や国境を越えた友愛精神を育て、風俗習慣の相違から起こりがちな誤解や偏見を取り除いて、国際間の理解と親善を深めようとするものである。姉妹友好都市との着実な交流や分野を特定した新しいパートナー都市連携など外国諸都市との交流事業を、オンラインなど新しい手段を活用しながら実施してきた。姉妹友好都市との交流が、双方の市及び市民にとってより実益のあるものとなるよう取り組んでいく必要がある。

また、市内の外国人住民数が約9万人となっており、更なる増加が見込まれるとともに、家族を伴ってより長期にわたって在住する外国人が増える等、外国人住民の多様化がさらに進むことが予想される。そのため、関係各局との連携を図りつつ、状況の変化に対応しながら、多文化共生施策をより積極的に推進していくとともに、デジタルトランスフォーメーションを活用した多言語による情報発信等により一層、取り組んでいく必要がある。

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策34）

個別事業の実施状況		
施策	34	国際的に開かれたまちづくりを進めます

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
外国諸都市との 交流推進 (国際交流課)	外国諸都市とのつながりを深め、市民の国際感覚の醸成をはかるため、幅広い交流を通じて両市民の相互理解と友好親善を促進する姉妹友好都市交流と、アジアを中心とした都市と分野を特定した交流を行うパートナー都市交流を推進	姉妹友好都市からの使節団受入実施 姉妹友好都市提携周年記念事業の実施 パートナー都市と各分野において実益ある交流の実施	姉妹友好都市からの使節団受入実施 ▶受入人数 8人 メキシコ市、ランス市の姉妹都市提携周年記念事業の実施 ▶実施 パートナー都市と各分野において実益ある交流の実施 ▶タシケント市、台中市とのパートナー都市提携PR事業の実施	☆☆☆☆	49,764 (46,711)	51,685 (22,910)	8
	(関連成果指標)①	備考				基準年度	30
地域における情 報の多言語化 (国際交流課)	外国人市民に必要な情報を伝えるため、多様な言語・手段による情報提供と、外国人市民が身近に相談できる環境を整備	多言語によるウェブサイトでの情報発信の実施 国際センター情報サービスコーナーの運営 名古屋転入ウェルカムキットの配布 テレビ電話通訳の実施 国際センターにおける各種相談事業の実施	多言語によるウェブサイトでの情報発信の実施（令和4年11月から108言語に対応した機械翻訳を導入） ▶市公式ウェブサイト閲覧数 233,289件 国際センター情報サービスコーナーの運営 ▶利用者数 6,560人 名古屋転入ウェルカムキットの配布 テレビ電話通訳の実施 ▶利用件数 145件 国際センターにおける各種相談事業の実施 ▶満足度 95.4%	☆☆☆☆	279,846 (279,846)	306,937 (292,678)	4
	(関連成果指標)①	備考	※外国人市民:名古屋市内に住所を有する外国籍の人のほか、日本国籍を取得した人や国際結婚によって生まれた子どもなど、外国の文化を背景に持つ人や、外国にルーツを持つ人			基準年度	30
地域社会に対 する多文化共 生の意識啓発 (国際交流課)	多文化共生に対する理解を促進するため、地域住民等に対する啓発事業を実施	多文化共生推進月間の実施 NIC地球市民教室の運営	多文化共生推進月間の実施 ▶講演会の開催等 NIC地球市民教室の運営 ▶講師派遣件数 95件	☆☆☆☆	4,836 (4,836)	3,126 (3,126)	8
	(関連成果指標)①	備考				基準年度	30

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策34）

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
外国人向け防 災事業 (国際交流課)	災害時に外国人市民の安全を確保するため、日本の災害や防災についての情報を提供するとともに、災害語学ボランティア制度の管理運営やウェブサイト等を活用した多言語での情報提供を実施	外国人防災啓発事業の実施 災害時の外国人支援体制の確保	外国人防災啓発事業の実施 ▶防災サロン等の実施 災害時の外国人支援体制の確保 ▶災害語学ボランティア研修等の実施	☆☆☆☆	0 (0)	0 (0)	4
(関連成果指標)①	備考					基準年度	30
日本語学習の 支援 (国際交流課)	外国人市民が日常に必要な日本語を習得し、地域のコミュニティで円滑に生活できるよう、日本語学習機会の拡充を支援	NIC日本語の会の運営 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業の実施	NIC日本語の会の運営 ▶受講者数 83人/ターム 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業の実施 ▶地域日本語教育に係る総合調整会議の開催 ▶総括コーディネーター及び地域日本語教育コーディネーターの配置 ▶日本語教育人材に対する研修の実施 ▶ワークショップの開催	☆☆	13,914 (9,458)	18,970 (9,486)	3
(関連成果指標)①	備考					基準年度	元
留学生の支援 (国際交流課)	留学生が安心して勉強に専念することができるよう支援するため、国際留学生会館の運営に対し補助するとともに、留学生の誘致につなげるため、ニーズを把握した上で本市に関する情報提供や学生同士の交流を促進	国際留学生会館の運営補助 留学生の交流促進	国際留学生会館の運営補助 ▶利用者数 延べ118人 留学生の交流促進 ▶留学生交流促進事業参加者数 延べ161人	☆☆☆	16,336 (15,235)	19,608 (16,949)	9
(関連成果指標)②	備考					基準年度	30

◆その他の事業

事業名 (所管課)	指標	年度	目標	基準 年度	基準年度 実績	令和4年度 実績	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
					増減		増減		
自治体国際化協会 負担金 (国際交流課)	海外活動支援及び海外調査 依頼実績	4	7件	30	6件	1件	61,000 (0)	54,000 (0)	8
					△ 83.3%		△ 11.5%		
	地域の国際化を推進する一般財団法人自治体国際化協会に対して負担金を支出								
(関連成果指標)①	備考								
名古屋市公館の運 営・整備 (国際交流課)	会議室等利用日数	4	延べ397件	30	延べ397日	延べ308日	46,935 (46,478)	53,930 (53,605)	8
					△ 22.4%		14.9%		
	国内外からの賓客等を迎えたり、式典や重要な会議を開催する場としての施設の管理・運営、国際交流展示室での姉妹友好都市の紹介及び各都市からの記念品の展示								
(関連成果指標)①	備考								

施策シート

施策 36 魅力的な都市景観の形成を進めます

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



組織目標 名古屋のまちをさらに美しく魅力あふれた快適な都市に育てていくため、景観重要建造物等への指定及び保存助成により、魅力的な都市景観の形成を進める。

個別事業	総合計画 掲載事業 進ちよく	その他の事業		成果指標	目標値		実績値	
		実績	決算額		年度	値	平成30年度	令和4年度
景観重要建造物、都市景観重要建築物等の指定及び助成	☆☆☆☆	—		① 名古屋の中で好きなまちの風景がある市民の割合	5	70%	65.3%	62.4%
				備考				

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)		増減額(千円)		増減割合
	0	(0)	5,000	(5,000)	5,000	(5,000)	

今後の方向性

引き続き、景観重要建造物等への指定と保存工事への助成を実施し、良好な景観の形成に重要な建造物等について保存を図ることで、魅力的な都市景観の形成を進める。

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策36）

個別事業の実施状況

施策 36 魅力的な都市景観の形成を進めます

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちよく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公 的 関 与
景観重要建造物、都市景観重要建築物等の指定及び助成（歴史まちづくり推進室）	歴史的または文化的な価値を有するものや、地域のランドマークあるいはシンボルとして良好な景観の形成に重要な建築物等について、景観重要建造物や都市景観重要建築物等として指定し、保存活用をはかるとともに助成事業を実施	指定の継続 助成事業の実施	指定 ▶景観重要建造物 17件 ▶都市景観重要建築物等 44件 助成事業の実施 ▶30件(累計)	☆☆☆☆	0 (0)	5,000 (5,000)	7
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	

施策シート

施策 37 歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



組織 目標	名古屋城の整備や市内の歴史的建造物等の保存・活用を通じた名古屋独自の魅力づくりを進めるとともに、未来を担う若手の育成や文化施設の整備など、将来を見据えた文化への投資を行うことで文化芸術を活かしたまちづくりを推進し、市民による自発的な市内外への魅力発信を促進する。							
	個別事業	総合計画 掲載事業 進ちよく	その他の事業		成果指標	目標値		実績値
実績			決算額	年度		値	平成30年度	令和4年度
	名古屋城の整備	☆☆☆	—	① 名古屋独自の魅力や文化で自信を持って紹介できるものがある市民の割合	5	78%	59.8%	45.2%
	名古屋城の調査研究	☆☆☆☆	—					
	名古屋城の魅力向上事業	☆☆☆	—					
	金シャチ横丁構想の推進	☆☆☆☆	—					
	名古屋城を核とした魅力向上の推進	☆☆☆☆	—					
	名古屋まつりの開催	☆☆☆☆	—					
	伝統的建造物群保存地区保存事業の推進	☆☆☆	—					
	町並み保存事業の推進	☆☆☆	—					
	歴史的建造物の保存活用の推進	☆☆☆☆	—					
	歴史まちづくり事業の推進	☆☆☆☆	—					
	文化のみちの推進	☆☆☆	—					
	伊藤家住宅の保存・活用	☆☆☆☆	—					
	揚輝荘の保存・活用	☆☆☆	—					
	文化芸術活動の支援・活用	☆☆☆	—					
	名古屋フィルハーモニー交響楽団の活動支援	☆☆	—					
	ユネスコ・デザイン都市なごやの推進	☆☆☆☆	—					
	シビックプライド醸成に向けたプロモーションの推進	☆☆☆☆	—					
	名古屋城の運営	—	↓ ↓					
	市民御岳休暇村の運営	—	↑ ↑					
	名古屋市文化振興事業団への助成	—	→ ↓					
	金山南ビル美術館棟の運営	—	↑ →					
	名古屋の文化資源を活用した芸術文化プロジェクト	—	↑ ↓					
	芸術文化事業の振興	—	↓ ↓					
	郷土ゆかりの文学資料館の運営	—	↓ →					
				備考				
	文化施設の運営・整備	☆☆☆	—	② 市の文化施設の利用率	5	90%以上	92.1%	85.8%
	文化小劇場の舞台照明設備改修工事	—	→ ↑	備考	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実績値が低下			
	守山文化小劇場外装等工事	—	— —					

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)	増減額(千円)	増減割合
	8,241,973 (3,938,843)	4,960,091 (3,271,341)	△ 3,281,882 (△ 667,502)	△ 39.8%

今後の方向性

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、本市の歴史・文化事業に関する施策は規模を縮小して実施していたが、令和5年5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行されたことから、コロナからの反転攻勢をより一層強めていくと同時に、疲弊した業界を盛り上げる施策を展開していく。一方で名古屋独自の魅力づくりを進めるため、名古屋城の整備や歴史的建造物等の保存・活用を継続していくとともに、名古屋市文化芸術推進計画2025に基づき、本市の文化芸術の底上げとすそ野を拡大しながら、それらの魅力を広く発信していく。

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策37）

個別事業の実施状況

施策 37 歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進捗状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的関与
名古屋城の整備 (名古屋城総合事務所)	名古屋城の本質的価値の理解を促進するため、戦災により焼失した天守閣を史実に忠実に木造復元するほか、石垣の保存整備、二之丸庭園の保存整備等を実施	天守閣 ▶整備推進 石垣 ▶修復工事 ▶発掘調査・測量 二之丸庭園 ▶発掘調査・測量 ▶保存整備工事 二之丸地区 ▶基本構想の策定・推進 展示収蔵施設 ▶供用開始(令和2年度)	天守閣 ▶実施設計 ▶木材の製材 ▶石垣調査等 石垣 ▶修復工事 ▶実施設計 二之丸庭園 ▶発掘調査・測量 ▶保存整備工事 二之丸地区 ▶整備基本調査 展示収蔵施設 ▶外構工事	☆☆☆	3,993,555 (1,027,781)	558,472 (115,699)	1
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
名古屋城の調査研究 (名古屋城総合事務所)	特別史跡名古屋城跡の価値を明らかにするとともに、適切な保存活用を行い次世代に継承していくため、調査研究センターを新設し、特別史跡名古屋城跡が有する文化財や資料等に関する学術的・総合的な調査研究を実施	調査研究センターの新設(令和元年度) 調査研究の実施	調査研究センターの新設(令和元年度) 調査研究の実施	☆☆☆☆	0 (0)	43,261 (29,594)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	元	
名古屋城の魅力向上事業 (名古屋城総合事務所)	名古屋城の魅力向上や誘客をはかるため、夜間のイベント等の開催時の開園時間の延長や、民間事業者のノウハウを活用した多彩なイベントの開催などを実施	民間事業者と連携したイベント等の実施	民間事業者と連携したイベント等の実施 ▶来場者数 1,529,287人	☆☆☆	174,012 (0)	82,568 (2,568)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
金シャチ横丁構想の推進 (名古屋城総合事務所)	名古屋の近世武家文化のシンボルである名古屋城及びその周辺の魅力を一層向上させるとともに、国内外からの来訪者に対して名古屋の魅力を発信するため、金シャチ横丁構想を推進	第二期整備計画の推進	第二期整備	☆☆☆☆	5,325 (5,325)	28,692 (28,692)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策37）

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進捗状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
名古屋城を核とした魅力向上の推進 (観光推進課)	名古屋城を起点とした、有松・桶狭間までの「歴史・文化魅力軸」と、名古屋港地区までの「まちづくり・ものづくり魅力軸」という2つの魅力軸における回遊性の向上をはかるため、名古屋城と各エリアを結ぶマップの作成やイベントの実施、水上交通を推進する堀川・中川運河などの各エリアの積極的なプロモーションにより、魅力を創出・発信	実施	実施 ▶音声ARを活用した観光ガイドコンテンツの造成 ▶にっぽん城まつり及びお城EXPOへのブース出展 ▶搭乗型移動支援ロボット走行社会実験	☆☆☆☆	18,996 (18,996)	8,996 (8,996)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
名古屋まつりの開催 (観光推進課)	まつりを通じて、名古屋の伝統、文化、魅力にふれてもらうため、郷土英傑行列をはじめとした行列行事・会場行事を実施	実施 ▶65周年事業 (令和元年度)	実施 ▶来場者数 1,248,724人 ▶65周年事業 (令和元年度)	☆☆☆☆	114,000 (114,000)	120,000 (120,000)	8
(関連成果指標)①	備考	☆(遅れ)の理由:新型コロナウイルス感染症の影響による			基準年度	30	
伝統的建造物群保存地区保存事業の推進 (歴史まちづくり推進室)	歴史的な町並みの維持向上をはかるため、伝統的建造物群保存地区に指定している有松地区において、現状変更行為の許可や伝統的建造物の修理等に対する補助等を実施	規制及び補助の実施 ▶補助件数 25件(累計) 防災計画の策定・推進	規制及び補助の実施 ▶補助件数 15件(累計) 防災計画の策定	☆☆☆	14,769 (9,481)	10,288 (10,288)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
町並み保存事業の推進 (歴史まちづくり推進室)	市内に残る歴史的な町並みを保存するため、町並み保存地区において、指導・助言及び補助を実施	指導・助言及び補助の実施 ▶補助件数 442件(累計)	指導・助言及び補助の実施 ▶補助件数 430件(累計)	☆☆☆	11,841 (11,841)	6,232 (6,232)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
歴史的建造物の保存活用の推進 (歴史まちづくり推進室)	身近な歴史的建造物の保存活用を推進するため、身近な歴史的建造物の登録・認定制度の運用や、歴史的資産を活かしたまちづくりへの啓発活動、経済的支援及びなごや歴まちびとによる技術的支援を実施	実施 ▶登録・認定制度の運用 300件(累計)	実施 ▶登録・認定制度の運用 329件(累計)	☆☆☆☆	8,736 (8,736)	9,506 (9,506)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
歴史まちづくり事業の推進 (歴史まちづくり推進室)	日本遺産に認定された有松をはじめ「歴史・文化魅力軸」上に位置づけられている東海道や熱田などの歴史・文化の魅力を向上・発信するため、啓発事業や、拠点となる公開施設の整備を実施	実施 ▶歴史的建造物の公開活用及び歴史的資源の活用による情報発信 ▶まち歩きコースの提供などスマートフォンによる情報発信	実施 ▶岡家住宅の取得及び建物公開 ▶まち歩きコースの提供などスマートフォンによる情報発信 アプリダウンロード数 24,014件(累計)	☆☆☆☆	22,127 (22,127)	10,219 (6,198)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策37）

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
文化のみちの 推進 (歴史まちづくり 推進室)	名古屋の近代化の歩みを伝える歴史的な遺産の宝庫である「文化のみち」の魅力を向上・情報発信するため、歴史的建造物の保存や歴史的建造物を活用したイベントなどを実施	文化のみちの施設(4施設)の活用・管理 文化のみちにおけるイベントの実施	文化のみちの施設(4施設)の活用・管理 ▶入館者数 47,672人 文化のみちにおけるイベントの実施 ▶参加者数 431人	☆☆☆	48,753 (48,479)	50,255 (48,790)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
伊藤家住宅の 保存・活用 (歴史まちづくり 推進室)	四間道町並み保存地区の中心となる愛知県指定有形文化財の伊藤家住宅について、地域の共有財産として保存・活用を推進	保存・活用の推進	保存・活用の推進 ▶修理整備基本計画策定に向けた検討 ▶建物公開(イベント実施時に公開)	☆☆☆☆	23,506 (21,625)	21,485 (21,485)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
揚輝荘の保存・ 活用 (歴史まちづくり 推進室)	城山・覚王山地区のまちづくりの交流拠点施設として活用するため、市民共有の歴史・文化遺産である揚輝荘の修復整備を実施	南園 ▶聴松閣の公開 北園 ▶北園の暫定公開 ▶伴華楼等の修復整備の推進	南園 ▶聴松閣の公開 入館者数 16,867人 北園 ▶北園の暫定公開 入園者数 31,642人 ▶揚輝荘の保存及び活用に関する懇談会	☆☆☆	70,690 (65,477)	56,047 (51,135)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
文化芸術活動 の支援・活用 (文化芸術推進 課)	文化芸術がまちなかに広がることで、都市の魅力向上や地域活性化をはかるため、芸術家等の創造活動を支援・活用する事業を実施	やっとかめ文化祭の実施 ▶伝統芸能の公演 ▶まちなか披露等 アッセンブリッジ・ナゴヤの実施(令和2年度まで) ▶名古屋港周辺エリアにおける空き家を活用した展覧会やまちなかを会場とした演奏会等 新たな文化施策推進体制の検討・実施 名古屋独自の文化をまとめた冊子「芸どころ名古屋」の作成・活用	やっとかめ文化祭の実施 ▶入場者数 51,182人(オンライン含む) ▶伝統芸能の公演 ▶まちなか披露等 アッセンブリッジ・ナゴヤの実施 ▶名古屋港周辺エリアで国内外の芸術家が一定期間滞在して行う展覧会や演奏会等 新たな文化施策推進体制(名古屋版アーツカウンシル)の立ち上げ 名古屋独自の文化をまとめた冊子「芸どころ名古屋」の活用	☆☆☆	72,248 (18,287)	114,358 (74,411)	8
(関連成果指標)①	備考	アッセンブリッジ・ナゴヤの実施:令和2年度で事業終了予定であったが、継続して事業を実施。			基準年度	30	

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策37）

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
名古屋フィル ハーモニー交響 楽団の活動支 援 (文化芸術推進 課)	交響管弦楽による音楽芸術 の普及向上をはかり、文化の 発展に寄与するため、名古屋 フィルハーモニー交響楽 団による演奏活動を支援	演奏事業 年間110回 まちかどコンサート 年間23回 魅力向上事業 ▶中高生への演奏指導 ▶東京公演 ▶海外公演	演奏事業 年間95回 まちかどコンサート 中止 魅力向上事業 ▶東京公演 ▶海外公演の延期	☆☆	461,026 (291,026)	444,198 (274,198)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
ユネスコ・デザ イン都市なごや の推進 (文化芸術推進 課)	「ユネスコ・デザイン都市なご や」としての魅力を一層向上 させるとともに、国内外に向 けて広く発信するため、創造 都市ネットワークを活用した 他都市との交流事業や、若 手の人材育成等を実施	交流・PR事業 人材育成事業 デザイン啓発事業	交流・PR事業 人材育成事業 2回 デザイン啓発事業	☆☆☆☆	8,299 (8,299)	2,940 (0)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
文化施設の運 営・整備 (文化芸術推進 課)	市民文化の振興をはかるた め、公会堂、市民会館、文化 小劇場等の文化施設を運営 するとともに、市民会館をは じめとする文化施設の役割 を整理した上で、市民会館 の整備を実施	文化施設の運営 新たな市民会館の整備 推進	文化施設の運営 ▶利用率 85.8% 新たな劇場の基本計画 の策定に向けた検討	☆☆☆	1,827,110 (1,576,713)	2,029,011 (1,753,623)	8
(関連成果指標)②	備考				基準年度	30	
シビックプライド 醸成に向けたプ ロモーションの 推進 (観光推進課)	低迷する市民推奨度を向上 させるため、名古屋駅周辺 や名古屋城・文化のみちな ど本市の魅力資源が集積す るエリアを題材とした、誇りや 愛着につながる情報を市民 に効果的に発信するプロ モーションを実施	実施	実施 ▶Netflix作品を活用した プロモーション ▶フィルムコミッションの 発信	☆☆☆☆	36,253 (36,253)	2,107 (2,107)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	

◆その他の事業

事業名 (所管課)	指標	年度	目標	基 準 年 度	基準年度 実績	令和4年度 実績	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
名古屋城の運営 (名古屋城総合事 務所)	名古屋城来場者数	4	1,902,744人	30	2,207,530人	1,529,287人	747,060 (136,878)	608,085 (70,503)	8
					△ 30.7%		△ 18.6%		
(関連成果指標)①	備考								
市民御岳休暇村の 運営 (文化芸術推進課)	事業の総参加人数	7	36,000人	30	10,733人	18,243人	284,359 (280,335)	323,885 (320,293)	8
					70.0%		13.9%		
(関連成果指標)①	備考								

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策37）

事業名 (所管課)	指標	年度	目標	基準 年度	基準年度 実績	令和4年度 実績	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
					増減		増減		
名古屋市文化振興 事業団への助成 (文化芸術推進課)	文化事業の高評価率	4	89.7%	30	89.5%	87.5%	220,088 (180,921)	188,934 (167,609)	8
					△ 2.2%		△ 14.2%		
	(公財)名古屋市文化振興事業団の実施する市民文化の振興事業や、文化情報に関する資料の収集と整備など、文化芸術振興事業の推進をはかるための事業に対し助成								
(関連成果指標)①	備考								
金山南ビル美術館 棟の運営 (文化芸術推進課)	貸付日数	4	350日	3	184日	283日	98,878 (98,878)	101,840 (101,840)	8
					53.8%		3.0%		
	美術館・博物館用途での短期貸付による暫定利用を実施								
(関連成果指標)①	備考								
名古屋の文化観光 資源を活用した芸 術文化プロジェクト (文化芸術推進課)	ストーリーミングヘリテージの来 場者数	4	20,000	2	14,573人	34,960人	35,750 (9,750)	28,225 (0)	8
					139.9%		△ 21.0%		
	名古屋の文化資源や観光資源を活用した、観光インバウンドにも資する事業の実施により、名古屋独自の文化芸術の魅力を国内外に発信し、アジア大会・リニア開通に向けた都市魅力の向上を図る								
(関連成果指標)①	備考								
芸術文化事業の振 興 (文化芸術推進課)	「第九」コンサートの来場者 数	4	1,400人	30	1,802人	1,360人	25,457 (2,500)	21,353 (0)	8
					△ 24.5%		△ 16.1%		
	市民の「第九」コンサートなどの事業を共催し、市民文化の一層の振興を図る								
(関連成果指標)①	備考								
郷土ゆかりの文学 資料館の運営 (文化芸術推進課)	来場者数	4	35,610人	30	32,686人	22,789人	11,454 (11,454)	11,654 (11,654)	8
					△ 30.3%		1.7%		
	本市が進める「文化のみち」の拠点施設として、建築遺産の保存及び活用についての市民意識の高揚をはかるとともに、郷土ゆかりの文学資料を保管・展示。※観光文化交流局(文化芸術推進課)では2階の一部(展示室)及び書庫棟を所管								
(関連成果指標)①	備考	新型コロナウイルス感染拡大対策により令和2年2月29日から令和2年5月31日まで臨時休館							
文化小劇場の舞台 照明設備改修工事 (文化芸術推進課)	出来高	4	100%	2	100%	100%	382 (382)	79,555 (20,555)	8
					0.0%		20725.9%		
	経年劣化が進行している文化小劇場の舞台照明設備について順次改修工事を実施								
(関連成果指標)②	備考								
守山文化小劇場 外装等工事 (文化芸術推進課)	出来高	4	100%	—	—	100%	— (—)	20,826 (5,826)	8
					—		—		
	守山文化小劇場があるアクロス小幡の外装等について、別途実施する外壁改修(機能保全)の付帯工事として、防水機能向上工事を実施								
(関連成果指標)②	備考	令和4年度開始							

施策シート

施策 38 観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します



組織目標	武将ゆかりの歴史・文化や、なごやめし・ポップカルチャーをはじめとした名古屋が誇る魅力資源の磨き上げ及び発信に努め、観光客誘致に向けた取り組みを進めるとともに、ものづくり産業等の集積を生かしたMICE誘致とその基幹インフラとなる国際展示場・国際会議場の整備・運営を進めることにより、国内外の多様な交流を促進する。								
	個別事業	総合計画 掲載事業 進ちよく	その他の事業		成果指標	目標値		実績値	
			実績	決算額		年度	値	平成30年度	令和4年度
歴史観光の推進	☆☆☆☆	—	① 観光総消費額	5	6,000億円 (令和5年)	3,958億円 (平成30年)	3,746億円 (令和4年)		
コスプレホストタウン等の推進	☆☆☆	—							
観光プロモーションの推進	☆☆☆☆	—							
観光案内の充実	☆☆☆	—							
なごや観光ルートバスの運行	☆☆☆☆	—							
トイレの洋式化及び機能向上	☆☆	—							
高級ホテルの立地促進	☆☆☆☆	—							
海外からの観光客誘致の推進	☆☆☆☆	—							
観光客の誘致促進事業	—	—							
観光客の誘致宣伝活動	—	↓ →							
大河ドラマを活用した観光推進	—	—							
アーバンヘルスツーリズムの推進	—	—							
新型コロナウイルス感染症対策旅行商品造成支援事業	—	—							
世界コスプレサミット開催支援	—	—							
につぼんど真ん中祭り開催支援	—	—	備考	実績値の令和4年度の値は速報値					
MICEの誘致推進	☆	—	② 国際会議の年間開催件数	5	248件 (令和4年)	183件 (平成29年)	0件 (令和3年)		
国際展示場の運営・整備	☆☆	—							
国際会議場の運営・整備	☆	—	備考						

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)		増減額(千円)		増減割合
	2,042,916	(1,198,436)	10,266,392	(5,257,670)	8,223,476	(4,059,234)	

今後の方向性

コロナ禍で大きな影響を受けた観光・MICE関連産業は、コロナ禍の収束により回復傾向にある。今後もこの回復の兆しを維持し、交流人口の拡大や地域経済の活性化を目的として、本市ならではの魅力を活かした海外に向けたプロモーションや多様なニーズに対応した受け入れ環境の充実を図るとともに、MICE誘致の推進や国際展示場・国際会議場の整備・運営を確実に進めていく。

今後の事業の実施にあたっては、観光消費額の拡大を目的として、第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会の開催やリニア中央新幹線の開業など、名古屋の交流人口の増加が見込まれるチャンスを着実に掴み、本市経済に好循環をもたらすよう観光・MICEを一体的に推進する。

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策38）

個別事業の実施状況

施策 38 観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
歴史観光の推進 (観光推進課)	名古屋の歴史的な魅力の掘り起こしや情報発信に継続的に取り組み、観光客の誘致及び都市ブランドの醸成をはかるため、信長、秀吉、家康などの武将を観光資源として磨き上げ発信するとともに、日本遺産に認定された有松や、桶狭間、大高地区の観光魅力向上や「名古屋おもてなし武将隊」を活用した観光PR等を実施	実施	実施 ▶信長攻路桶狭間の戦い～人生大逆転街道～事業 ▶人生大出世夢街道事業 ▶有松の観光魅力向上事業 ▶名古屋おもてなし武将隊による名古屋城でのおもてなし業務及び観光PR ▶大須の観光魅力向上事業 ▶熱田の観光魅力向上事業	☆☆☆☆	216,231 (216,231)	111,176 (111,176)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
コスプレホストタウン等の推進 (観光推進課)	コスプレホストタウン宣言に基づき誰もがコスプレを楽しめるまちをめざすため、コスプレホストタウンPR隊による市民への啓発、受入機運醸成をはかるとともに、コスプレ・アニメの情報の集約・提供などを行うコスプレコンシェルジュを運営	コスプレホストタウンPR隊によるPR コスプレコンシェルジュの運営 研究会の開催 市有施設等におけるコスプレ撮影開放の実施 コスプレ拠点エリアの創設	コスプレホストタウンPR隊によるPR コスプレコンシェルジュの運営(令和元年度) 研究会の開催(令和元年度) 市有施設等におけるコスプレ撮影開放の実施21施設 「コスプレホストタウン名古屋」公式ウェブサイトの開設、PR動画制作	☆☆☆	5,962 (5,962)	5,760 (5,760)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
観光プロモーションの推進 (観光推進課)	観光都市としてのイメージ向上、名古屋ならではの観光資源のブランド化を推進するため、全国的に認知度が高いなごやめしをはじめとする名古屋の魅力を活かしたPRを検討・実施	物産展などを活用した観光プロモーションの実施 県市連携プロモーションの実施 なごやめし普及促進事業 名古屋の魅力的な観光情報の発信 テレビ塔照明のLED化	名古屋観光プロモーションの実施 県市連携プロモーションの実施 ▶オンライン商談会の実施 ▶観光展の実施 ▶ジブリパークとコラボしたポスターやリーフレットを制作 なごやめし普及促進事業 名古屋の魅力的な観光情報の発信 テレビ塔点灯式の実施(令和2年度)	☆☆☆☆	36,103 (36,103)	15,344 (15,344)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策38）

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
観光案内の充実 (観光推進課)	観光客へのおもてなしを充実させるため、名古屋地域の玄関口である名古屋駅等において観光案内所を運営・強化するほか、民間事業者と連携し、まちなかでの観光情報の提供につとめるとともに、名古屋駅など主要地点において多言語表記の観光案内板を設置	観光案内所の運営・機能強化 観光案内板の整備 150基(5か年) まちなか観光案内所の運営 316か所	観光案内所の運営 ▶利用者数 408,697人 ▶名古屋市金山観光案内所 ▶名古屋市名古屋駅観光案内所 ▶オアシス21iセンター 観光案内板の整備(31基)及び整備箇所の検討 まちなか観光案内所の運営 369か所	☆☆☆	90,123 (90,123)	98,934 (98,934)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
なごや観光 ルートバスの運行 (観光推進課)	市内の公共交通機関に詳しくない観光客に対し、市内観光の利便性向上をはかるため、目的の観光施設まで乗り換えることなく行くことができる交通手段として運行	実施 ▶名古屋城の東側にバス 停新設	実施 ▶利用者数 247,025人	☆☆☆☆	67,104 (4,376)	69,390 (69,390)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
トイレの洋式化 及び機能向上 (観光推進課)	観光客をはじめ誰もが快適に利用できるトイレを整備するため、観光施設、地下鉄駅等のトイレを洋式化及び機能向上させるための改修を実施	実施	実施 ▶対象トイレの洋式化率 80%	☆☆	23,334 (23,334)	28,385 (28,385)	8
(関連成果指標)①	備考	他局との共管事業			基準年度	30	
高級ホテルの 立地促進 (観光推進課)	大規模な国際会議等のMICE及び富裕層旅行者の誘致につなげるため、質の高い宿泊施設の立地促進施策を実施	実施	実施 ▶立地促進の推進	☆☆☆☆	2,567 (2,567)	10 (10)	8
(関連成果指標)①	備考	MICE(マイス):企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。			基準年度	元	
海外からの観光客誘致の推進 (観光推進課)	海外からの観光客の誘致を促進するため、名古屋の観光魅力を活かしたプロモーション事業を実施するとともに、他自治体等と連携した広域観光を推進	海外からの観光客誘致に向けた観光プロモーション事業の実施 外航クルーズ船誘致事業の実施 他自治体等と連携したアジア及び欧米地域に向けた観光プロモーション事業等の実施	海外からの観光客誘致に向けた観光プロモーション事業の実施 外航クルーズ船誘致事業の実施 ▶寄港件数 5件 他自治体等と連携したアジア及び欧米地域に向けた観光プロモーション事業等の実施	☆☆☆☆	45,217 (45,217)	32,606 (32,606)	8
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策38）

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
MICEの誘致推進 (MICE推進室)	国内外の交流を促進し、経済の活性化をはじめ、都市の知名度やイメージの向上をはかるため、ものづくり産業の集積をはじめとする当地域の特色を活(い)かし、全国的・国際的なコンベンション等MICEの誘致、プロモーション、開催支援の充実、情報収集などを実施	実施 ▶MICE開催助成件数 22件 ▶国際展示場・国際会議場の利用者数 3,499,000人 ▶国際展示場・国際会議場の利用率 国際展示場全展示施設平均 70% 国際会議場主要3ホール平均 85% G20愛知・名古屋外務大臣会合開催支援 (令和元年度)	実施 ▶MICE開催助成件数 6件 ▶国際展示場・国際会議場の利用者数 1,644,950人 ▶国際展示場・国際会議場の利用率 国際展示場全展示施設平均 44.6% 国際会議場主要3ホール平均 60.1% G20愛知・名古屋外務大臣会合開催支援 (令和元年度)	☆	88,195 (83,195)	109,362 (75,371)	8
(関連成果指標)②	備考	☆(遅れ)の理由:新型コロナウイルス感染症の影響による			基準年度	30	
国際展示場の運営・整備 (MICE推進室)	MICEを推進するため、その基本インフラとなる国際展示場を管理・運営するとともに、拡大し多様化するMICE活動に対応し、激化する都市間競争に打ち勝つために要求される水準に対応する拡充・機能強化を実施	国際展示場の運営 新第1展示館の供用開始(令和4年度) コンベンション施設の供用開始(令和4年度) さらなる展示場拡張整備の推進	国際展示場の運営 ▶利用者数 909,270人 新第1展示館の施工完了・供用開始 コンベンション施設の施工完了・供用開始 国際展示場整備に係る改築基本計画の策定	☆☆	757,109 (70,122)	7,773,795 (2,894,057)	6
(関連成果指標)②	備考				基準年度	30	
国際会議場の運営・整備 (MICE推進室)	MICEを推進するため、その基本インフラとなる国際会議場を管理・運営するとともに、拡大し多様化するMICE活動に対応し、激化する都市間競争に打ち勝つために要求される水準に対応する拡充・機能強化を実施	国際会議場の運営 大規模改修等 ▶工事着手(令和5年度)	国際会議場の運営 ▶利用者数 735,680人 大規模改修等 ▶事業者選定手続き	☆	506,314 (418,612)	244,384 (180,082)	6
(関連成果指標)②	備考	☆(遅れ)の理由:新型コロナウイルス感染症と物価高騰の影響による。			基準年度	30	

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策38）

◆その他の事業

事業名 (所管課)	指標	年度	目標	基準 年度	基準年度 実績	令和4年度 実績	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
					増減		増減		
観光客の誘致促進 事業 (観光推進課)	宿泊客一人あたりの消費額	4	31,304円	—	—	30,841円	— (-)	1,496,236 (1,496,236)	8
	市内宿泊施設を予約した旅行者に対して宿泊料の2分の1を助成。WEB等を活用し、名古屋への誘客プロモーションや制度周知を実施。併せて宿泊施設の協力の下、観光客による飲食店利用促進のためのプロモーションを重点的に実施								
	(関連成果指標)	備考 令和4年度開始							
観光客の誘致宣伝 活動 (観光推進課)	旅行商品造成プロモーションの実施件数	4	8都市	30	8都市	5都市	207,224 (205,161)	212,347 (212,347)	8
					△ 37.5%		2.5%		
	(関連成果指標)	名古屋の特色や魅力を活かした観光キャンペーンやPRイベントなどの観光プロモーションを推進するとともに、観光客の多様な情報ニーズに対応するホームページの運営、観光客向けパンフレットの作製及び修学旅行誘致事業などを実施。また、海外の旅行会社、マスコミによる取材旅行の受入を実施し、名古屋の魅力の紹介や知名度向上を図るとともに、多言語パンフレットの作成などを実施							
大河ドラマを活用した観光推進 (観光推進課)	観光コンテンツ造成および収集数	4	30	—	—	60	— (-)	19,973 (19,973)	8
	メディアの活用やポスター、冊子などの作成により家康ゆかりの地である名古屋の新たな観光魅力の情報発信及び、家康ゆかりの史跡やスポットの周遊を促進するため、楽しみながら回って観光できる企画や観光誘客プロモーション等を実施								
	(関連成果指標)	備考 令和4年度開始							
アーバンヘルスツーリズムの推進 (観光推進課)	ブランドロゴの使用件数	4	5件	—	—	5件	— (-)	17,999 (17,999)	8
	名古屋観光における新たなツーリズムブランドの創出に向けて、ブランド名称やロゴ、コンセプトの定義づけを実施するとともに、観光客誘致イベントの開催支援や観光関連事業者と連携した旅行商品の造成等を実施。新たなツーリズムブランドの全国的な認知度向上を図るため、WEB、雑誌を活用したプロモーションを実施。								
	(関連成果指標)	備考 令和4年度開始							
新型コロナウイルス感染症対策旅行商品造成支援事業 (観光推進課)	旅行商品造成の採択件数	4	5件	—	—	5件	— (-)	14,691 (0)	8
	観光誘致の取組を促進するため、異業種連携による旅行商品造成に対する支援を実施。造成支援した旅行商品を含む、名古屋の観光商品の情報発信及び販売促進を目的とするポータルサイトを構築し運用								
	(関連成果指標)	備考 令和4年度開始							
世界コスプレサミット開催支援 (観光推進課)	観客動員数及び総視聴者数	4	300千人	—	—	280千人	— (-)	8,000 (0)	8
	世界中のコスプレイヤーが集まる大規模イベントの実施。イベント会場における感染症対策及びオンライン配信等新たな様式での実施にかかる経費について一部を負担								
	(関連成果指標)	備考 令和4年度開始							
にっぽんど真ん中祭り開催支援 (観光推進課)	観客動員数及び総視聴者数	4	4,455千人	—	—	3,126千人	— (-)	8,000 (0)	8
	真夏の名古屋を舞台に繰り広げられる日本最大級の踊りの祭典を実施。イベント会場における感染症対策及びオンライン配信等新たな様式での実施にかかる経費について一部を負担								
	(関連成果指標)	備考 令和4年度開始							

個別事業の実施状況（観光文化交流局 施策45）

個別事業の実施状況

施策 45 公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用を進めます

◆その他の事業

事業名 (所管課)	指標	年度	目標	基準 年度	基準年度 実績	令和4年度 実績	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
					増減		増減		
機能保全の実施 (国際交流課、MIC E推進室、文化芸術 推進課)	出来高	4	100%	30	100%	100%	504,889 (470,888)	146,491 (17,491)	8
					0.0%		△ 71.0%		
					老朽化した施設において、運営に重大な支障をきたすことがないようにするため、利用者の安全性や快適性に配慮した施設の修繕や設備の更新を実施				
(関連成果指標)―	備考								